

中学 2 年 道 徳 授 業 案

日 時 平成 30 年 2 月 23 日 (金) 5 校時

生 徒 鉏路市立共栄中学校 2 年 2 組 37 名

授業場 鉏路市立共栄中学校 2 年 2 組教室

授業者 赤本 純基

1 主題名 「 寛容の心 」 内容項目 B-9 相互理解, 寛容

2 資料名 「 言葉の向こうに 」 (出典: 私たちの道徳)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

グローバル化や急速な情報化は、私たちの生活を質的にも大きく変化させつつある。第 2 期科学技術基本計画では、技術革新においてあらゆるものが機械化・オートメーション化されていく中においても、重要とされているのはやはり「コミュニケーション能力」とされている。近年、情報ネットワーク上の掲示板や SNS、学校裏サイトといったコミュニケーションに関するトラブルといった課題が指摘されており、学校教育において情報モラルも含めたコミュニケーションの在り方についてよりよい指導が求められている。

学習指導要領解説道徳編では、内容項目の指導の観点の「B 主として人とのかかわりに関すること」の「相互理解, 寛容」の中で、「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと」と設定している。

「読み物資料の活用例」には「いわゆるインターネット使用上のエチケット指導をねらいとするのではなく、道徳の主題(内容項目)をきちんと押さえる」とあるように、インターネット上の問題ではあっても、その根底には人と人とのコミュニケーションの中で、互いの個性や立場を尊重し、広い視野に立ってものの見方や考え方があることを理解する「相互理解・寛容」が大切と考える。

(2) 資料について

今回の授業で扱う「言葉の向こうに」は、相手の顔が見えないインターネットという世界で、自己の考えを一方向的に押し付けてしまったことでトラブルに巻き込まれた資料である。資料で主人公の心の変化を考えることを通して、コミュニケーションの在り方や寛容の心(≒許す心)の重要性などを生徒自身が自分事として捉えやすいものとなっている。

4 本時案

(1) 本時のねらい

それぞれの立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解する上での道徳的判断力を育てる。

(2) 本時の展開 _____ 中心発問 ○発問 △補助発問 [] 予想される生徒の反応

子供の学習活動	教師の働きかけ	指導展開上の留意点
<p>1. コミュニケーションの意識について交流する。 ・機嫌よく接する・人を不快にさせない など</p> <p>2. ネット上でのコミュニケーションの特質について考える。 ・直接話す中で引くに引けないから ・ネット上で話す中で（顕名）顔が見えない分言いやすいから ・ネット上で話す中で（匿名）責任がないから</p> <p>3. よりよいコミュニケーションの在り方について考える。 ・一番大事なことを忘れていた。 ・すごいことを発見した。 ・読み手の気持ちを考えていなかった。 ・画面の向こう側にも人がいることを忘れていた。 ・多くの人がサイトを見ていることを忘れていた。 ・自分はどのように思われていたのか。 ・伝えなければならないことは伝えるべきだが、相手のことをよく考えて伝えるべき。</p> <p>4. 寛容の心をもつ自分の在り方について考える。 ・相手のことをよく考えること ・自分を客観的にみること</p>	<p>○ 人との接し方で、普段気をつけていることは何ですか。 ・資料範読Ⅰ ～p.80 l.12</p> <p>○ この資料の話と同じように、人と話す中で、段々とエスカレートしていった経験はありますか。また、どうして、エスカレートしてしまうと思いますか。 ○ エスカレートしてしまう度合いは、場合によってどんな違いがあると思いますか。 ・資料範読Ⅱ ～p.81 l.21</p> <p>○ <u>加奈子は、『あなたが書いた言葉の向こうにいる人々の顔を思い浮かべてみて』と言われて、どう思ったのでしょうか。</u> △ 「一番大事なこと」「すごいこと」って何だと思いますか。 △ これはネット上だけの話なのでしょうか。 ○ やはり思ったことは、相手に伝えた方がよいのではないのでしょうか。 △ （伝える派に対して）どんなことを大切にして伝えればよいと思いますか。 △ （伝えない派に対して）黙っていて、お互いに成長があると思いますか。</p> <p>○ どちらにしても、共通して大事にしていることは何だと思いますか。 △ 大事とはわかっているけど、できないことがあるのはどうしてでしょうか。</p>	<p>・どんな場面での経験なのかを引き出す。 ・適宜ペアで話し合う場面を設けて、指名計画を立てる。 ・「なぜ」、「どうして」を大切にしてお返し。</p> <p>・今後の自分の行動の在り方について考えさせたい。</p>